

津田塾大学大学院 文学研究科 英語教育実践研究(千駄ヶ谷キャンパス)

「インターネット通学制度」

津田塾大学大学院文学研究科では、長年、教員としての経験を持つ多くの卒業生の方からご要望のありました、遠隔地に在住しながら修士課程に在籍し、インターネットを活用することにより修士号を取得できる制度を、2019年度より開設しました。

この制度では、通常の入学者と同様に、入学試験や論文に関する面接、修了時の口述試験などは千駄ヶ谷キャンパスで受けていただきますが、授業(月曜日・金曜日の夜や土曜日の午後および夜)には、リアルタイムで自宅や職場等からインターネットを用いたアプリケーションを通じて参加していただき、指導の先生や通学生とともに授業に出席していただきます。講義、アクションリサーチなど、ほとんどのタイプの科目は、このインターネット通学で履修することが可能です。

遠隔の受講生は、コンピュータと安定したネット環境さえあれば、他に必要なものではありません。また、このインターネットを通じた授業参加では、遠隔からでも個人発表や発言ができ、授業内でのディスカッション、板書の共有、ハンドアウトの提示など、通常の教室での活動を行うことが可能です。

ただし、この制度は、インターネットテレビ会議システムを導入した授業であり、通信教育課程とは異なります。教師や他の院生との時間をできるだけ持っていただくために、一部、通学(月1回以上、夏休み・冬休みの集中講座および中間発表など)が必要になります(※1)。

通常の在籍者とインターネット通学者との差異

通常の在籍者とインターネット通学者共通の必須要件	インターネット通学者のみの必須要件※3
<ul style="list-style-type: none">・ 修了までに最低32単位履修・ 必修科目および選択科目の履修・ 入学試験(千駄ヶ谷キャンパス)・ 修了の口述試験と Action Research プロポーザルおよび論文に関する面接(千駄ヶ谷キャンパス)※2	<ul style="list-style-type: none">・ 夏と冬の集中講義は千駄ヶ谷キャンパスで履修する・ 月に1回は千駄ヶ谷キャンパスで教員と面談ないし授業に参加する・ 前期と後期に各1回ずつ、千駄ヶ谷キャンパスで中間発表をする

※1,2,3 の必須要件については、2020年度より新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、弾力的に運用しております。